

## 柴北川プロジェクト通信 1号

平成21年9月26日(土)

## 1. 「柴北川を愛する会」との合同会議を開催

いよいよ10月から、「山村再生プラン～山桜の保全・活用を軸とした、「花いっぱい」のふる里づくり」事業（通称：柴北川プロジェクト）が始まりますが、プロジェクト開始に当たって「柴北川を愛する会」の皆さんと、共助研メンバーとの初の顔合わせとなる合同会議を開催しました。

雲ひとつない秋晴れの下、朝10時に建コン協会ビル前に集合した共助研の参加者6名は、8人乗りワゴン車で大分道を東進し、途中昼食をはさむ3時間半のドライブで柴北川地域に到着。長谷トンネルを抜けて柴北地区に入ると、緑の山を背景として収穫前の黄金色に染まった稲田と、道路沿いの畦沿いに続く彼岸花の赤い帯の醸し出す見事な山里の秋景に、一同嘆息するばかりでした。地域中央の黒松地区の公民館に到着すると、既に愛する会の方々と、現地合流の会員が会議の準備を始めており、14時からの会議開始予定を30分早めて、合同会議を開始しました。以降、以下の段取りで19時半に公民館を退出するまで延べ6時間に及び会合を行った次第です。

## ●合同会議の流れ

項目・時間	進行	内容	
準備	13:15	●公民館到着 ●会場準備	少し早めに到着。
あいさつ	13:30	●進行役あいさつ（渡邊・波木） ●赤星副会長あいさつ ●自己紹介（最初に共助研の紹介） ●本日のプログラム紹介（波木）	愛する会の大塚会長は、前日急遽入院されたとのことで、残念ながら欠席。共助研メンバーは、名前・出身地・大分県に対する想いを披歴。愛する会メンバーも、多様な方々が参加。
	14:10	●現地視察の班編成（渡邊）→2班に分かれる	
現地視察	14:15	●車に分乗して、2つのコースに分かれて視察する。	山桜コース：長谷地区の山桜自生地を周回し、三の岳山腹から地域を俯瞰。学校コース：柴北川の石橋と長谷小学校を視察。主な場所で、愛する会の方より説明をしていただく。
	15:30	●公民館集合	
意見交換会	15:40	●意見交換の進め方の紹介（波木） ●グループ分け（概ね10名ずつ） ●グループ協議（グループで輪になって座る）	生月が奇数か偶数かで2グループに分かれ、愛する会及び共助研が合同で、2つのテーマについて、フランクに話し合う。コーディネーターは共助研。 ①地域のよいところ・悪いところ 良いところ（青紙）、悪いところ（赤紙）を書き出し、KJ法によるまとめ。 ②小学校への想い 小学校の思い出、地域にとっての小学校とは、これから何を残していきたいか、など。
	16:50	●グループ別発表メンバーから。	
	17:10	●山村再生プランの紹介（渡邊）	
懇親会	17:15	●懇親会の準備	地元の高山議員の発声で乾杯。共助研メンバーによる初めての名刺渡しで、あちこちで詳しい自己紹介が始まる。閉めのあいさつは、愛する会から穴見さん、共助研から波多野さんがあいさつし、最後に幸野さんが、今後の更なる交流連携を約束して閉め。
	17:20	●乾杯（高山議員） 歓談	
	19:30	●閉めのあいさつ	
帰路へ	19:30	●公民館出発	共助研メンバーは、三浦農園のカボスをお土産としていただき、帰路につく。
	22:00	●建コンビル帰着	

## ●合同会議参加者

### 「柴北川を愛する会」

甲斐能美（副会長）・穴見克美（会計）・穴見純一（監査役）・渡邊雪法（事務局長）  
後藤盛史（地区役員）・赤峰映洋（地区役員）・後藤 博（会員）・安藤邦男（会員）  
甲斐克彦（PTA 副会長・会員）・高野和幸（会員）・三浦君重（会員）・渡邊敬雪（会員）  
高山豊吉（市議員・非会員） 以上 13 名

### 「共助研」

赤星文生（副会長）・木寺佐和記・幸野敏治（大野川流域ネットワーキング）・玉田孝二  
波木健一・波多野建志・前田武・森脇亨・矢ヶ部輝明・山本慎太郎 以上 10 名



参加者の自己紹介



現地視察（学校活用班）



意見交換（偶数月グループ）



意見交換（奇数月グループ）



懇親会の様子



幸野さんの音頭でバンザイ

2.意見交換会での意見

意見交換会における2グループでの意見を、KJ法で集約しました。

(1)地域の良いところ・悪いところ			
グループ	キーワード	良いところ	悪いところ
奇数月 生まれ	山	・山桜が多い。	・山ばかりで平地が少ない。 ・ほとんどが急傾斜地 ・杉が多すぎ。 ・竹林が侵入してきている。
	花	・きれいな花を植えられている。 ・彼岸花の数と田んぼの風景	
	観光		・他地区から来た人のたまる場所がない。 ・お店がない。 ・物産が買える場所がわからない。 ・食事ができる場所がない。 ・特産がわからない。
	川	・水がきれい。 ・川へ降りやすい。 ・川が美しい。 ・ホタルが多くなった。	・水量が少ない。 ・護岸工事の有り方に工夫を。 ・魚が少ない。 ・川で遊ぶ場がない。川に降りにくい。
	人	・仲間意識が強い。 ・集まって何かするのが好き。 ・人が良い。	・子供達が少ない。
	風景	・空がきれい。 ・高台からの見晴らしがきれい。 ・石橋のある風景 ・田んぼの中を流れる柴北川の風景 ・神社・寺院が風景の中に点在しておちつく。 ・里山と田んぼの風景は素晴らしい。	・石橋が草で良く見えない。 ・ガードレールがきたない。 ・きれいだが特色が弱い。
偶数月 生まれ	文化財	・史跡が多い。(石橋がすばらしい) ・松巖寺の裏	・合併前までは石橋を行っていた。 ・石橋草かどうにかしたい。 ・石の横の木が見れる場所 ・石橋の価値観がわからない。 ・黒松神社前の電線の色
	生物	・6月にホタルが少しであるが発生する。	・昔はホタルがいた。(カワニナがいなくなった)
	川	・川のせせらぎが良い。	・川に近づかなくなった。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水が透明度が高い。</li> <li>・川中が水遊びに適していてあまり深くなく浅い。</li> <li>・子供たちが安心して水辺遊びができる場所がある。(柴北川)</li> <li>・柴北川の清らかな流れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水量が少ないため魚の育成が困難</li> <li>・従前は水量が多かったが、師田原ダム設置で平常水の流量が少なく、川ヨシの繁みが多い。</li> <li>・川遊びをしたいが、川におりる所が少ない。護岸ブロックとなっているので。</li> </ul>
子供		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減にどう対処していくか、これからだと思えます。</li> <li>・子供の姿を見ない。</li> </ul>
風景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然</li> <li>・道脇の神社の風景</li> <li>・田園風景が良い。(草刈りされている)</li> <li>・柴北川を真ん中にして、両側に山林、住宅地等が細長くずらーと里の方へ登っている。地域づくりの面で一体感をつくりやすい。</li> <li>・里のイメージがそのままであること。</li> <li>・元牧草地跡のクヌギ林と川岬の風景として神社鳥居の参道風景がとても組み合わせがイイ!</li> <li>・ふるさとの風景</li> <li>・山々に囲まれたまとまった空間</li> <li>・展望所からの景色が良い。(盆地の景観)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柴北の住民の方々やまちの語り、物語が伝わらないのは地域に埋もれた<u>資源を発信しきれていない</u>もどかしさ、心の豊かさが活かしきれていない。</li> <li>・里山の手入れが思うように行き届いていない。<u>石橋</u> 竹林</li> </ul>
花	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道の花 季節感を多いに感じれること</li> <li>・県道沿いの彼岸花が美しい。</li> <li>・道沿いの花(草花)の植栽</li> <li>・ふるさとをなんとかしたい、ふるさとの誇りをつなぎたいという想いがあぜ道などの彼岸花、里山付近の草刈り(民家付近)を通じて感じられた。</li> </ul>	



(2)小学校への想い			
グループ	キーワード	意見・感想	
奇数月 生まれ	思い出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のシンボル、クスノキ</li> <li>・東側の石の階段</li> <li>・入学式の写真</li> </ul>	
	遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は山のぼりを行っていた。(者)</li> <li>・遠足で柴北川 オカリ場</li> </ul>	
	地区と 学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盆おどりの会 8/14 をグランド柱松を立てて本物のタイマツ</li> <li>・運動会</li> <li>・学校のグラウンド 消防の出初式</li> </ul>	
	今後の 活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と思い出は何にもまして重いものがある。長谷小はそのシンボル。地域の皆で是非利用策を！</li> <li>・閉校の淋しさはあるが、跡地活用の問題を地域全体で考えていきたい。</li> <li>・神楽の伝承のステージ(体育館)</li> <li>・地域の旬の食材を使って柴北オリジナルのブランド食品開発の拠点(女性+子供)カマスカの甘露煮</li> <li>・定期的なイベント会場(石橋や四季折々の写真展)</li> </ul>	
偶数月 生まれ	思い出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会での部落リレー</li> <li>・120年の村の歴史がある。</li> <li>・地域住民の憩い、顔合わせの場</li> <li>・長谷地区の文化が無くなる。</li> <li>・地区の歴史が終わる感じ。</li> </ul>	
	今後の 活用	<b>【資源】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柴北唯一の近代的なビル</li> </ul>	<b>【物産】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物産加工施設</li> </ul>
		<b>【文化・芸術】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術村</li> <li>・使わなくなった農耕機など</li> <li>・柴北の文化センター ex.歴史郷土資料館</li> </ul>	<b>【多目的交流】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味の交流場</li> <li>・情報発信基地</li> </ul>
	<b>【宿泊施設】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰省者や長谷出身者でもう家が無く里帰りしたい人の宿泊施設や同級会等の集会所</li> <li>・町外者の宿泊場所</li> <li>・夏休み体験場</li> <li>・体験・宿泊施設</li> </ul>	<b>【活動拠点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校跡 地域活動拠点</li> <li>・地域で使える運動、図書館、プール</li> </ul> <b>【高齢者施設】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校跡 老人いこいの場</li> <li>・グループホーム的活用</li> </ul>	